

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-251040

(43)Date of publication of application : 17.09.1999

(51)Int.Cl.

H05B 3/18  
H01L 21/324  
H01L 21/68  
H05B 3/12  
H05B 3/14  
H05B 3/20  
H05B 3/20

(21)Application number : 10-048354

(71)Applicant : KYOCERA CORP

(22)Date of filing : 27.02.1998

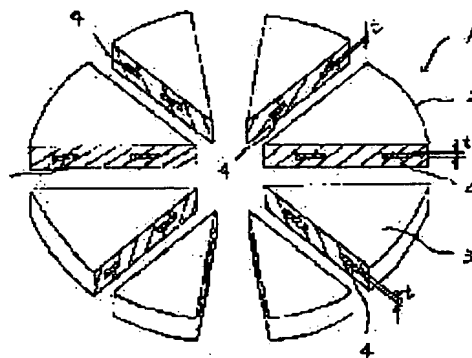
(72)Inventor : FUKUI KIYOSHI

## (54) CERAMIC HEATER AND ITS MANUFACTURE

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a ceramic heater in which temperature is uniformly distributed on a heating surface by minimizing a thickness dispersion of a resistance heating element embedded in a ceramic body.

**SOLUTION:** A green sheet for a resistance heating element is produced by a tape forming method by adding solvent and binder to metal with a high fusing point, its alloy or conductive ceramics powder and kneading them, and after forming a green sheet laminated body by inserting a piece blanked out to a designated heating pattern by a die between the green sheets to compose a ceramic body, it is degreased, and is then baked. A heating pattern in which a difference between the maximum value and the minimum value of a thickness (t) of each heating element 4 in a cutting plane cut by at least two line segments passing through an almost center point in a heating pattern region composed by a band shaped resistance heater element 4 is not more than 10% of an average thickness value of the resistance heating element 4 in all cutting planes, is embedded in a flat ceramic body 2 in order to compose a ceramic heater 1.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 22.10.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 29.11.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

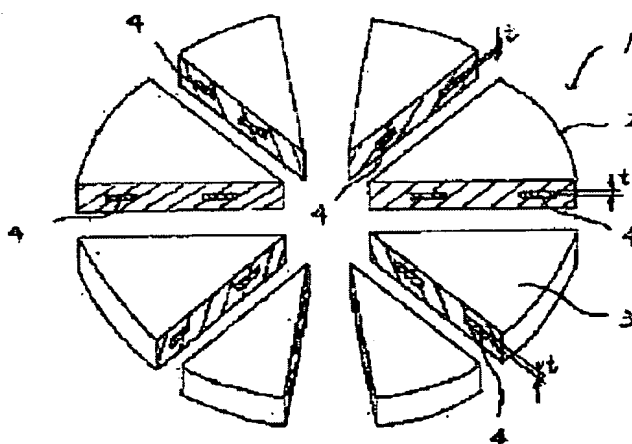
## CERAMIC HEATER AND ITS MANUFACTURE

**Patent number:** JP11251040  
**Publication date:** 1999-09-17  
**Inventor:** FUKUI KIYOSHI  
**Applicant:** KYOCERA CORP  
**Classification:**  
- international: H05B3/18; H01L21/324; H01L21/68; H05B3/12;  
H05B3/14; H05B3/20  
- european:  
**Application number:** JP19980048354 19980227  
**Priority number(s):** JP19980048354 19980227

**Report a data error here**

### Abstract of JP11251040

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a ceramic heater in which temperature is uniformly distributed on a heating surface by minimizing a thickness dispersion of a resistance heating element embedded in a ceramic body. **SOLUTION:** A green sheet for a resistance heating element is produced by a tape forming method by adding solvent and binder to metal with a high fusing point, its alloy or conductive ceramics powder and kneading them, and after forming a green sheet laminated body by inserting a piece blanked out to a designated heating pattern by a die between the green sheets to compose a ceramic body, it is degreased, and is then baked. A heating pattern in which a difference between the maximum value and the minimum value of a thickness ( $t$ ) of each heating element 4 in a cutting plane cut by at least two line segments passing through an almost center point in a heating pattern region composed by a band shaped resistance heater element 4 is not more than 10% of an average thickness value of the resistance heating element 4 in all cutting planes, is embedded in a flat ceramic body 2 in order to compose a ceramic heater 1.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-251040

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月17日

(51) Int.Cl. <sup>a</sup>	識別記号	F I	
H 0 5 B	3/18	H 0 5 B	3/18
H 0 1 L	21/324	H 0 1 L	21/324
	21/68		21/68
H 0 5 B	3/12	H 0 5 B	3/12
	3/14		3/14
			K
			N
			A
			B
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願平10-48354

(22) 出願日 平成10年(1998) 2月27日

(71) 出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6 番地

(72) 発明者 福井 清

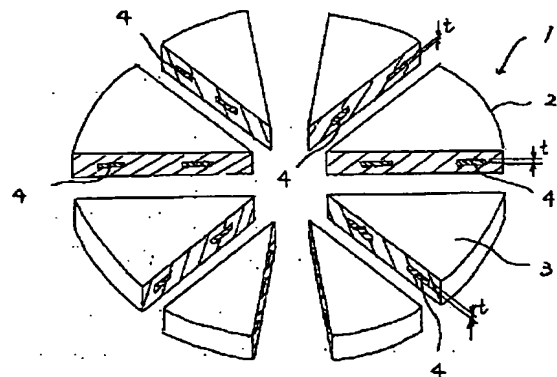
鹿児島県国分市山下町 1 番 1 号 京セラ株式会社鹿児島国分工場内

(54) 【発明の名称】 セラミックヒータ及びその製造方法

(57) 【要約】

【課題】セラミック体 2 中に埋設してある抵抗発熱体 3 の厚みばらつきを極めて小さくすることにより発熱面における温度分布が均一なセラミックヒータ 1 を提供する。

【解決手段】高融点金属やそれらの合金あるいは導電性セラミックスの粉末に溶媒とバインダーを添加混練してテープ成形法により抵抗発熱体用のグリーンシートを製作し、金型により所定の発熱パターンに打ち抜いたものをセラミック体を構成するセラミックグリーンシート間に挟み込んでグリーンシート積層体を形成したあと脱脂し、次いで焼成することにより、帯状の抵抗発熱体 4 により構成される発熱パターン領域のほぼ中心点を通る少なくとも 2 本の線分により切断した切断面における各抵抗発熱体 4 の厚み  $t$  の最大値と最小値の差が、全切断面における抵抗発熱体 4 厚みの平均値の 10 % 以下である発熱パターンを平板状のセラミック体 2 中に埋設してセラミックヒータ 1 を構成する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 帯状の抵抗発熱体により構成される発熱パターン領域のほぼ中心点を通る少なくとも2本の線分により切断した切断面に現れる各抵抗発熱体の厚みの最大値と最小値の差が、全切断面に現れる抵抗発熱体厚みの平均値の10%以内である発熱パターンを平板状のセラミック体中に埋設してなるセラミックヒータ。

【請求項2】 上記セラミック体が窒化アルミニウム質セラミックスである請求項1に記載のセラミックヒータ。

【請求項3】 セラミック体を構成する複数枚のセラミックグリーンシートを製作する工程と、高融点金属やそれらの合金あるいは導電性セラミックスの粉末に溶媒とバインダーを添加混練してテープ成形法により抵抗発熱体用のグリーンシートを製作する工程と、該抵抗発熱体用のグリーンシートを上記セラミックグリーンシートの少なくとも1枚に積層し、金型により所定の発熱パターンに打ち抜く工程と、該所定の発熱パターンに打ち抜いた抵抗発熱体用のグリーンシートを覆うように残りのセラミックグリーンシートを積層してグリーンシート積層体を形成する工程と、該グリーンシート積層体を脱脂し、しかるのち焼成する工程とからなるセラミックヒータの製造方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、セラミック体中に帯状の抵抗発熱体により構成される発熱パターンを有するセラミックヒータに関するものであり、例えば、各種燃焼機器の点火用ヒータ、各種加熱機器や測定機器の加熱用ヒータとして使用されるものであり、特に、半導体装置の製造工程におけるプラズマCVD、減圧CVD、光CVD、PVDなどの成膜装置やプラズマエッチング、光エッチングなどのエッチング装置に使用される半導体ウエハを加熱するための加熱用ヒータとして好適なものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、セラミックヒータとしてアルミナセラミックスや窒化珪素質セラミックスなどのセラミック体中にタングステン(W)やモリブデン(Mo)などの高融点金属やTiNなどの導電性セラミックスよりなる抵抗発熱体を埋設したものが知られており、これらのセラミックヒータは、耐熱性、電気絶縁性、耐食性、耐摩耗性に優れることから一般的に広く使用されている。

【0003】 また、近年、特殊な用途向けとして窒化アルミニウム質セラミックスを用いたセラミックヒータも提案されている。

【0004】 例えば、半導体装置の製造工程で使用されるプラズマCVD、減圧CVD、光CVD、PVDなどの成膜装置や、プラズマエッチング、光エッチングなどのエッチング装置においては、被加熱物である半導体ウエハ（以下、ウエハと称す。

【0005】）を支持しつつ各種処理温度に加熱するための加熱用ヒータとして上記セラミックヒータが使用されており、その中でも成膜装置やエッチング装置で使用されるフッ素系や塩素系等のハロゲン系腐食性ガス下で優れた耐プラズマ性を有するとともに高熱伝導特性を備えた窒化アルミニウム質セラミックスを用いたものが注目されている。

【0006】 このようなセラミックヒータを製造する方法としては、まず、セラミック体を構成する複数枚のセラミックグリーンシートを用意するとともに、セラミック体中に埋設する抵抗発熱体として、高融点金属や導電性セラミックスの粉末に溶媒とバインダーをそれぞれ添加混練して抵抗発熱体用の導体ペーストを製作し、この導体ペーストを所定の発熱パターンとなるようにスクリーン印刷法などの手法によって前記セラミックグリーンシートの1枚に敷設し、この導体ペーストを覆うように残りのセラミックグリーンシートを積層してグリーンシート積層体を形成したあと、脱脂し、次に所定の温度にて焼成することにより帯状の抵抗発熱体からなる発熱パターンを埋設してなるセラミック体を製作し、しかるのち、上記発熱パターンの一部を露出させ、そこにロウ材を用いて給電端子を接合することによりセラミックヒータを製造するようにしたものがあった（特公平8-34123号公報参照）

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、このような従来の製法では、以下のような課題があった。

【0008】 導体ペーストを製作してスクリーン印刷法により発熱パターンを敷設する方法では、発熱パターンを構成する抵抗発熱体の厚みばらつきを抑えるのに限界があり、この厚みばらつきによりセラミックヒータの発熱面における温度分布をさらに均一にすることが難しかった。

【0009】 即ち、導体ペーストを用いてスクリーン印刷法により発熱パターンを敷設するには、セラミック体を構成する1枚のセラミックグリーンシート上に、クリアランスを設けてスクリーンを設置し、このスクリーン上で抵抗発熱体用の導体ペーストをスキージにより引き延ばすことで導体ペーストが所定の発熱パターンに印刷されるのであるが、導体ペーストを引き延ばす際にはスキージに圧力をかけてスクリーン上を走査させることからスクリーンがたわみ、このたわみ量はスクリーンを支持する枠から離れた中央部ほど大きくなるために、発熱パターンの中央付近では印刷される導体ペーストの厚みが薄くなり、周縁では導体ペーストの厚みが厚くなるというようにばらつきがあり、この厚みばらつきを3μm以下に抑えることは困難であった。しかも、スキージへかける圧力が不均一であったり、導体ペーストの粘度が部分的に異なっていると、局所的に抵抗発熱体の厚みがばらつく恐れもあった。

【0010】また、導体ペーストは粘度が小さいことから、グリーンシート積層体の形成時における押圧力によっても塑性変形し易く、抵抗発熱体の厚みばらつきを生じ易いといった課題もあった。

【0011】そして、このような問題点は、セラミックヒータが大型化するにつれて顕著であり、特に、半導体装置の製造工程で用いられる加熱用ヒータにおいては、半導体ウエハの大型化に伴って直径が8インチ以上の大型セラミックヒータが要求されており、スクリーン印刷法により発熱パターンを形成したセラミックヒータでは発熱面の均熱化が困難になりつつあった。

【0012】

【課題を解決するための手段】そこで、本発明は上記課題に鑑み、帯状の抵抗発熱体により構成される発熱パターン領域のはば中心点を通る少なくとも2本の線分により切断した切断面における各抵抗発熱体の厚みの最大値と最小値の差が、全切断面における抵抗発熱体厚みの平均値の10%以内である発熱パターンを平板状のセラミック体中に埋設してセラミックヒータを構成したものである。

【0013】特に、上記セラミック体を窒化アルミニウム質セラミックスにより形成すれば、セラミックヒータの発熱面における温度分布をより均一にすることができ好適である。

【0014】また、本発明は、セラミック体を構成する複数枚のセラミックグリーンシートを製作する工程と、高融点金属やそれらの合金あるいは導電性セラミックスの粉末に溶媒とバインダーを添加混練してテープ成形法により抵抗発熱体用のグリーンシートを製作する工程と、該抵抗発熱体用のグリーンシートを上記セラミックグリーンシートの少なくとも1枚に積層したあと金型により所定の発熱パターンに打ち抜く工程と、該所定の発熱パターンに打ち抜いた抵抗発熱体用のグリーンシートを覆うように残りのセラミックグリーンシートを積層してグリーンシート積層体を形成する工程と、該グリーンシート積層体を脱脂し、しかるのち焼成する工程とからセラミックヒータを製造したものである。

【0015】即ち、本発明のセラミックヒータによれば、セラミック体中の発熱パターンを構成する帯状の抵抗発熱体の厚みばらつきを、従来のスクリーン印刷法では得られないほど小さくしてあることから、セラミックヒータを発熱させれば、発熱面の温度分布を極めて均一にすることができる。

【0016】また、このような発熱ムラの少ないセラミックヒータを得るために本発明では、テープ成形法によって導体ペーストより塑性変形し難い抵抗発熱体用のグリーンシートを製作し、金型により所定の発熱パターンに打ち抜いたものをセラミック体を構成するセラミックグリーンシート間に挟み込んでグリーンシート積層体を製作し、これを脱脂、焼成して製造するようにしたこと

から、大型のセラミックヒータにおいても発熱パターンを構成する帯状の抵抗発熱体には厚みばらつきが殆どない状態でセラミック体中に埋設することができる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態について説明する。

【0018】図1(a)は本発明のセラミックヒータを半導体装置の製造工程で使用される加熱用ヒータとして用いた例を示す斜視図であり、(b)は(a)のX-X線断面図である。

【0019】このセラミックヒータ1は、平面形状が円形をした平板状のセラミック体2中に帯状の抵抗発熱体4を埋設するとともに、上記セラミック体2の一方の主面を半導体ウエハWの支持と加熱のための発熱面3としてあり、セラミック体2の他方の主面には抵抗発熱体4に通電するための給電端子5を接合してある。

【0020】そして、発熱面3に半導体ウエハWを載置し、抵抗発熱体4に交流電圧を印加してセラミックヒータ1を発熱させることにより、発熱面3上に支持する半導体ウエハWを直接加熱するようになっている。

【0021】なお、図1では平面形状が円形をしたセラミックヒータ1の例を示したが、これ以外に平面形状が楕円形、あるいは四角形や五角形など多角形をしたものなどどのような形状をしたものであっても構わない。

【0022】このようなセラミック体2を構成する材質としては、アルミナセラミックス、窒化珪素質セラミックス、窒化アルミニウム質セラミックス、炭化硼素質セラミックス等を用いることができる。これらの中でも窒化アルミニウム質セラミックスは成膜装置やエッチング装置で使用されるハロゲン系腐食性ガス下において優れた耐プラズマ性を有するとともに、セラミックスの中でも非常に高い熱伝導率を有することからセラミック体2として好適に用いることができる。特に、純度が99.8%以上である高純度窒化アルミニウム質セラミックスは、焼結体中に粒界が殆どなく、耐プラズマ性に優れることから腐食摩耗が激しい時には最適であり、また、Y、O、やErなどの希土類酸化物を1~9重量%の範囲で含有する窒化アルミニウム質セラミックスでは、熱伝導率が100W/mk以上、高いものでは150W/mk以上、さらに高いものでは200W/mk以上を有することから発熱面4に載置した半導体ウエハWの均熱化をより一層高めることができるとともに、処理温度に加熱するまでの時間や冷却時間を短くすることができる。

【0023】また、これらのセラミック体2中に埋設する抵抗発熱体4の材質としては、タングステン(W)やモリブデン(Mo)など周期律表第6a族やTiなどの周期律表第4a族の高融点金属あるいはこれらの合金、さらにはWC、MoC、TiNなどの導電性セラミックスを用いることができる。これらの金属、合金、導電性セラミックスは上記セラミック体2を構成するセラミッ

クスと同程度の熱膨張係数を有することから、製作時や発熱時におけるセラミック体2の反りや破損を防ぐことができるとともに、高温度に発熱させても断線することがない。

【0024】さらに、上記セラミック体2中の抵抗発熱体4へ通電するための給電端子5としては、タングステン(W)、モリブデン(Mo)、ニッケル(Ni)などの金属や鉄(Fe)-コバルト(Co)-ニッケル(Ni)合金を用いることができ、特に耐酸化性が要求されるような時にはニッケル(Ni)あるいは鉄(Fe)-コバルト(Co)-ニッケル(Ni)合金を用いることが良い。

【0025】ところで、上記セラミック体2中に埋設する抵抗発熱体4の発熱パターンとしては、円形の発熱面3を均一に加熱するために、図2(a)に示すような同心円を構成するように配置された円弧状の抵抗発熱体4aと、隣合う円弧状の抵抗発熱体4a同士を接続する直線状の抵抗発熱体4とからなり、中心部に延びる2本の円弧状の抵抗発熱体4aの端部を電極取り出し部4cとしてある。このような発熱パターンSとすれば、中心を

通るとの部分で切断しても左右をほぼ同形状とすることができるため、発熱面3の温度分布を均一することができる。

【0026】なお、発熱パターンSの形状としては図2(a)に示したもののだけに限定されるものではなく、セラミック体2の構造や発熱面3の形状に合わせて適宜設計すれば良い。ただし、図1のセラミックヒータ1のように発熱面3が円形をしたものである場合には図2

(a)に示す発熱パターンSや電極取り出し部4cが最外周にある図2(b)に示すようなパターン形状を有するものが好ましい。

【0027】そして、本発明のセラミックヒータ1によれば、上記発熱パターン領域のほぼ中心点を通る少なくとも2本の線分により切断した切断面における各抵抗発熱体4の厚みの最大値と最小値の差が、全切断面における抵抗発熱体4厚みの平均値の10%以内であることを特徴とする。

【0028】ここで、発熱パターン領域のほぼ中心点を通る少なくとも2本の線分により切断した切断面における各抵抗発熱体4の厚みの最大値と最小値の差が、全切断面における抵抗発熱体4厚みの平均値の10%以内であるとは、例えば図3に示すように発熱パターン領域の中心を通る4本の線分により45°間隔でセラミック体2を8等分に切断し、これらの切断面に現れる各抵抗発熱体4の厚みtを測定してその最大値と最小値を求めるとともに、全切断面に現れる抵抗発熱体4の厚みtの平均値を算出する。なお、厚みtの測定に際しては各抵抗発熱体4において最も厚い部分を抵抗発熱体4の厚みtとして算出する。そして、切断面における各抵抗発熱体4の厚みtの最大値と最小値との差が、全切断面にお

る抵抗発熱体4の厚みtの平均値の10%以内となっていることを言う。

【0029】このように本発明では発熱パターンSを構成する帯状の抵抗発熱体4の厚みばらつきが極めて小さいことから、発熱面4の温度分布を均一にすることができ、また、構造上の問題から熱引け等によって局部的に発熱ムラを生じるような場合でも発熱パターンSを構成する帯状の抵抗発熱体4の厚みばらつきが極めて小さいことから、発熱ムラのある箇所における抵抗発熱体4の幅を変更するだけで抵抗値を容易に調整することができ、発熱面3の発熱ムラを簡単に制御することができる。

【0030】ところで、このようなセラミックヒータ1を製作するには、まず、図4(a)に示すように、前記セラミック体2を構成する複数枚のセラミックグリーンシート2a, 2b, ...を形成する。セラミックグリーンシート2a, 2b, ...は、前記セラミック粉末に対して必要に応じて所定の助剤成分を添加するとともに、溶媒とバインダーを添加混練して泥漿を作製したあと、ドクターブレード法、引き上げ法、カレンダ法、紙

鑄込み法、ペーパーキャスト法、ロールコンパクション法等のテープ成形法により成形すれば良い。

【0031】一方、図4(b)に示すように抵抗発熱体4は、前記金属、合金、導電性セラミックスの粉末に対して溶媒とバインダーを添加混練して泥漿を作製し、この泥漿をドクターブレード法、引き上げ法、カレンダ法、紙鑄込み法、ペーパーキャスト法、ロールコンパクション法等のテープ成形法を用いて厚み幅が均一な抵抗発熱体4用のグリーンシート4'を形成する。なお、上記テープ成形法にてグリーンシート4'を成形した際に厚みの均一化が図れない時や、厚み幅tが厚すぎる時は、所定の均一なギャップを有するロール間を通過させることにより、厚みをならし、均一化を図れば良い。

【0032】そして、図4(c)に示すように得られた抵抗発熱体4用のグリーンシート4'を上記複数枚のセラミックグリーンシート2a, 2b, ...のうち例えば1枚のセラミックグリーンシート2h上に積層する。なお、発熱パターンSを2層以上埋設する場合には、他のセラミックグリーンシートに抵抗発熱体4用のグリーンシート4'を積層すれば良い。

【0033】次に、図4(d)に示すように、図2(a)の発熱パターンSと同形状の凸部を有する金型でセラミックグリーンシート2h上に積層した抵抗発熱体4用のグリーンシート4'を打ち抜いたあと、図4(e)に示すように上記発熱パターンSを覆うように残りのセラミックグリーンシート2a, 2b, ...を積層してグリーンシート積層体8を製作する。

【0034】しかるのち、グリーンシート積層体8に切削加工を施して平面形状を円形としたあと、このグリー

ンシート積層体8を脱脂し、次いで各種セラミック原料を焼結させることができる温度にて焼成することにより図4(f)に示すように発熱パターンSを埋設してなるセラミック体2を形成する。

【0035】そして、上記セラミック体2の一方の主面に研磨加工を施してその面粗さを中心線平均粗さ(Ra)で1μm以下とし、発熱面3を形成するとともに、セラミック体2の他方の主面に抵抗発熱体4の電極取り出し部4cと連通する穴を穿設し、この穴に給電端子5をロウ材でもって接合し、抵抗発熱体4と給電端子5とをそれぞれ電氣的に接続することにより図1のセラミックヒータ1を得ることができる。

【0036】かくして、本発明のセラミックヒータ1によれば、発熱パターンSを構成する抵抗発熱体4の厚みばらつきが非常に小さいことから、セラミックヒータ1を発熱させれば、発熱面3の発熱ムラを生じることなく、均一に発熱させることができ、このセラミックヒータ1を半導体装置の製造工程における成膜装置やエッチング装置に使用される加熱用ヒータとして用いれば、発熱面3に支持する半導体ウエハを均一に発熱させることができるため、均一な厚み幅を持った薄膜を形成したり、所定の精度に微細加工を施すことができるとともに、ハロゲン系腐食性ガス下でプラズマに曝されたとしても抵抗発熱体4は耐プラズマ性に優れたセラミックスにより覆ってあるため、長期間にわたり使用することができる。

【0037】なお、本実施形態では、半導体装置の製造工程における成膜装置やエッチング装置に使用される加熱用ヒータの例をもって説明したが、本発明のセラミックヒータは他に、燃焼機器の点火用ヒータや加熱機器、測定機器等の加熱用ヒータなどさまざまな分野で使用されるヒータとしても好適に用いることができることは言うまでもない。

【0038】(実施例1)図1に示すような本発明のセラミックヒータ1と従来のセラミックヒータとを用意し、抵抗発熱体4の厚みばらつきと発熱面3の温度分布を比較する実験を行った。

【0039】本実験ではセラミック体2を純度99.9%の窒化アルミニウム質セラミックスにより形成するとともに、抵抗発熱体4にタングステンをを用いた。また、40 発熱パターンSを構成する抵抗発熱体4の目標寸法を厚みt15μm、幅5mmとした。

【0040】具体的には、純度99.9%のAlN粉末に対して溶媒とバインダーを添加混練して泥漿を作製し、ドクターブレード法にて複数枚のセラミックグリーンシートを複数枚形成した。

【0041】そして、従来品ではタングステンの粉末に対してテルビネオールの溶媒とアクリル系のバインダーを添加混練して抵抗発熱体4用の導体ペーストを製作し、この導体ペーストを図2に示す発熱パターンSのよ 50

うにスクリーン印刷法にて前記セラミックグリーンシートの1枚に積層してグリーンシート積層体を形成し、本発品はタングステンの粉末に対して溶媒にトルエンをバインダーにポリアクリル酸エチルをそれぞれ添加混練して泥漿を作製し、ドクターブレード法にて抵抗発熱体4用のグリーンシートを形成したものをセラミックグリーンシートの1枚に積層したあと、図2に示す発熱パターンSとなるように金型にて打ち抜いたものを残りのセラミックグリーンシートで覆ってグリーンシート積層体を形成した。

【0042】そして、これらのグリーンシート積層体を窒素雰囲気中にて脱脂し、次いで2010℃程度の温度で焼成することにより発熱パターンSを埋設したセラミック体2を形成し、このセラミック体2の一方の主面に研磨加工を施して発熱面3を形成するとともに、他方の主面にドリルにて抵抗発熱体3に連通する2つの穴を穿設し、これらの穴に鉄-コバルト-ニッケル合金からなる給電端子5をロウ付け固定することにより各セラミックヒータ1を製作した。

20 【0043】そして、得られた各セラミックヒータ1に周波数60Hz、100Vの交流電圧を印加して5.00℃の設定温度に発熱させ、発熱面3の表面温度をサーモビューアにより測定した。温度測定ポイントは図5に示すa～sの点とした。なお、温度測定ポイントはX線により発熱パターン領域を確認して行った。

【0044】次に、温度を測定をしたあと発熱パターン領域の中心を通る4本の線分(測定ポイントを通る)により各セラミックヒータを切断し、その切断面に現れる各抵抗発熱体4の厚みtを測定することにより抵抗発熱体4の厚みばらつきを測定した。

30 【0045】それぞれの結果は表1に示す通りである。

【0046】

【表1】



測定ポイント	本発明		従来例	
	抵抗発熱体の厚み(μm)	温度(℃)	抵抗発熱体の厚み(μm)	温度(℃)
a	14.3	500	16.2	500
b	14.5	499	15.8	498
c	14.8	498	16.3	501
d	14.9	499	17.3	488
e	14.5	500	16.9	481
f	14.2	501	18.2	485
g	14.5	499	16.9	483
h	14.3	502	14.5	512
i	14.5	500	16.1	507
j	14.3	501	15.0	505
k	15.0	500	14.8	500
l	15.1	504	15.5	499
m	14.8	503	14.7	501
n	14.7	502	13.0	518
o	14.4	505	13.5	515
p	15.0	503	13.2	510
q	14.6	504	13.9	511
r	14.5	505	13.3	508
s	14.6	504	13.7	512
①平均値	14.6	502	15.4	502
②最大値-最小値	0.9	7	5.2	37
②/①(%)	6	1	34	7

【0047】この結果、従来品では切断面に現れる各抵抗発熱体4の厚みtの最大値と最小値の差が、全抵抗発熱体4の厚みtの平均値に対して34%と抵抗発熱体4の厚みtにかなりばらつきがあることが判る。その為、発熱面3における最大値と最小値との差が37℃と発熱ムラが大きかった。

【0048】これに対し、本発明品は切断面に現れる各抵抗発熱体4の厚みtの最大値と最小値の差が、全抵抗発熱体3の厚みtの平均値に対して1%と抵抗発熱体4の厚みばらつきを大幅に低減できることが判る。その為、発熱面3における最大値と最小値との差は7℃と比較品の20%以下にまで発熱ムラを抑え、発熱面3の温度分布を大幅に高めることができた。

【0049】(実施例2)そこで、本発明のセラミックヒータ1において、抵抗発熱体4の厚みばらつきを故意に変更させ、実施例1と同様の条件にて抵抗発熱体4の厚みばらつきと発熱面3の温度分布との関係について調べる実験を行った。

【0050】そして、近年、発熱面3の温度ばらつきとしては最大温度と最小温度との差を20℃以下とすることが望まれていることから、20℃以下の場合を発熱良好として評価した。

【0051】それぞれの結果は表2に示す通りである。

【0052】

【表2】

	抵抗発熱体の厚み ②/①(%)	発熱面の温度 ばらつき
1	6	7
2	9	13
3	12	21
4	17	26
5	22	28

10

①：全抵抗発熱体の厚みの平均値

②：各抵抗発熱体の厚みの最大値と最小値の差

※は本発明範囲外である。

【0053】この結果、切断面に現れる各抵抗発熱体4の厚みtの最大値と最小値の差が、全抵抗発熱体3の厚みtの平均値に対して10%以下とすれば、発熱面3の温度ばらつきを20℃以下とできることが判る。

【0054】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、高融点金属やそれらの合金あるいは導電性セラミックスの粉末に溶媒とバインダーを添加混練してテープ成形法により抵抗発熱体用のグリーンシートを製作し、金型により所定の発熱パターンに打ち抜いたものをセラミック体を構成するセラミックグリーンシート間に挟み込んでグリーンシート積層体を形成したあと脱脂し、次いで焼成することにより、帯状の抵抗発熱体により構成される発熱パターン領域のほぼ中心点を通る少なくとも2本の線分により切断した切断面における各抵抗発熱体4の厚みtの最大値と最小値の差が、全切断面における抵抗発熱体4の厚みの平均値の10%以内である発熱パターンを平板状のセラミック体2中に埋設してセラミックヒータを構成したことから、発熱パターンを構成する抵抗発熱体の厚みばらつきを極めて小さくすることができるため、発熱面の温度分布を均一にすることができる。その為、例えば、本発明のセラミックヒータを成膜装置やエッチング装置などで使用される加熱用ヒータとして用いれば、被加熱物に対して均一な成膜や微細加工を施すことができるとともに、抵抗発熱体が耐食性に優れたセラミックスにより覆われていることから、フッ素系や塩素系などのハロゲン系腐食性ガス下でプラズマに曝されたとしても大きく摩耗することがなく長期間にわたって用いることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】(a)は本発明のセラミックヒータを半導体装置の製造工程で使用される加熱用ヒータとして用いた例を示す斜視図であり、(b)は(a)のX-X線断面図である。

【図2】(a)は図1のセラミックヒータ内に埋設してある抵抗発熱体の発熱パターンを示す模式図であり、

(b)は他の発熱パターンを示す模式図である。

11

【図3】図1のセラミックヒータを切断した状態を示す斜視図である。

【図4】(a)～(f)は図1のセラミックヒータの製造工程を示す図である。

【図5】発熱面における温度測定ポイントを示す図である。

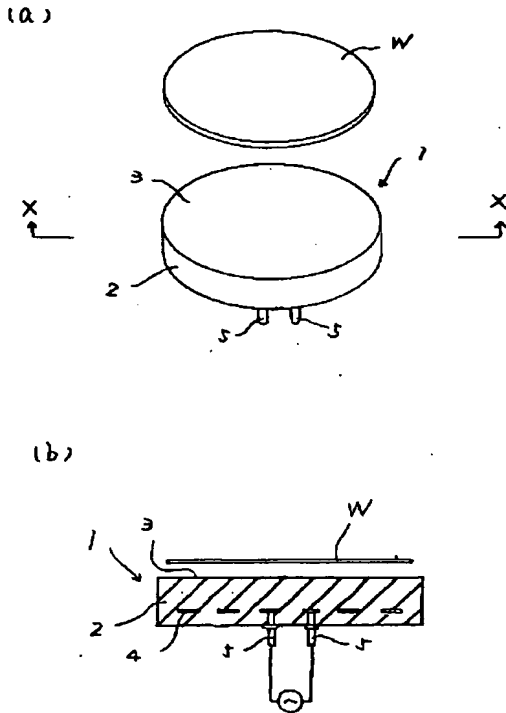
【符号の説明】

\*

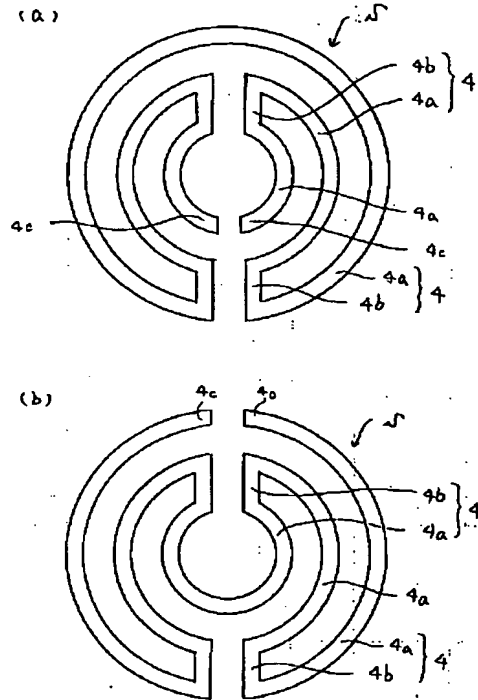
12

\* 1・・・セラミックヒータ 2・・・セラミック体 3  
 ……発熱面  
 4・・・抵抗発熱体 4a・・・円弧状の抵抗発熱体  
 4b・・・円弧状の抵抗発熱体 5・・・給電端子 S  
 ……発熱パターン  
 W・・・半導体ウエハ

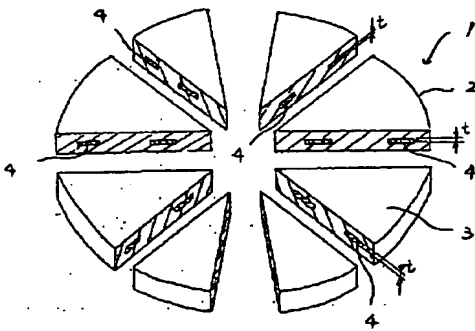
【図1】



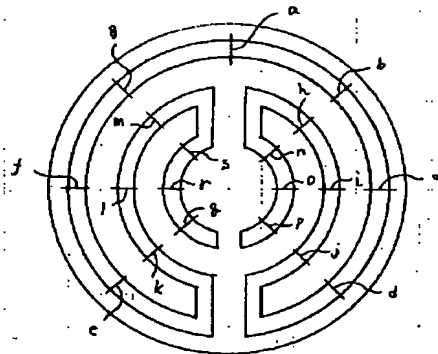
【図2】



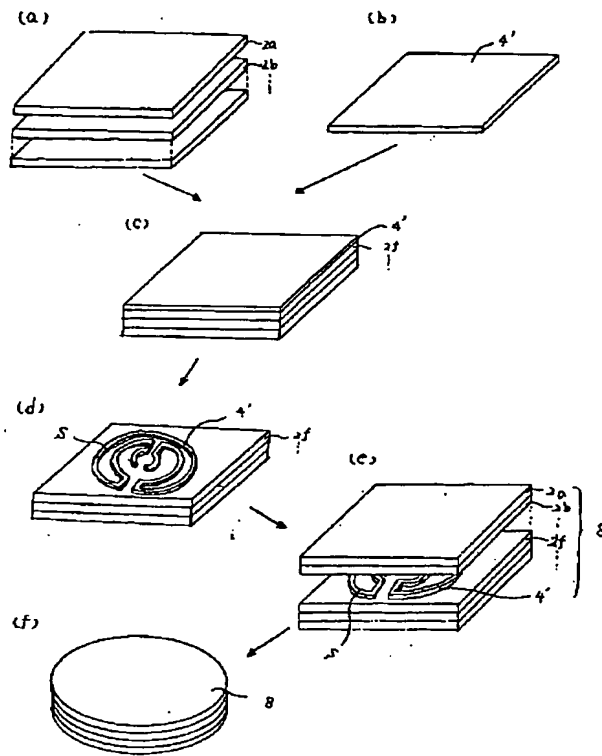
【図3】



【図5】



【図4】




---

フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
H 0 5 B 3/20

識別記号  
3 7 7  
3 9 3

F I  
H 0 5 B 3/20

3 7 7  
3 9 3

\* NOTICES \*

JPO and NCIP are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.\*\*\*\* shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

---

CLAIMS

---

[Claim(s)]

[Claim 1] the exoergic pattern whose difference of the maximum of the thickness of each resistance heating element which appears in the cutting plane cut by at least two segments of the exoergic pattern space constituted with a band-like resistance heating element which pass along the central point mostly, and the minimum value is less than 10% which appears in all cutting planes of the average of resistance heating element thickness -- a plate-like ceramic -- the ceramic heater which it comes to lay under the inside of the body.

[Claim 2] The ceramic heater according to claim 1 whose above-mentioned ceramic object is the nature ceramics of alumimium nitride.

[Claim 3] The process which manufactures the ceramic green sheet of two or more sheets which constitutes a ceramic object, The process which carries out addition kneading of a solvent and the binder at the powder of refractory metals, those alloys, or the conductive ceramics, and manufactures the green sheet for resistance heating elements by the tape-forming method, The process which carries out the laminating of the green sheet for these resistance heating elements to at least one sheet of the above-mentioned ceramic green sheet, and is pierced to a predetermined exoergic pattern with metal mold, The process which carries out the laminating of the remaining ceramic green sheets, and forms a green sheet layered product so that the green sheet for resistance heating elements pierced to this predetermined exoergic pattern may be covered, The manufacture approach of a ceramic heater which consists of a process which degreases this green sheet layered product and is calcinated the appropriate back.

---

[Translation done.]

## NOTICES

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

## DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Field of the Invention] It is a thing about the ceramic heater which has the exoergic pattern constituted by the inside of the body with a band-like resistance heating element, this invention — a ceramic — For example, it is what is used as the heater for ignition of various burning appliances, and a heater for heating of various heating devices or measuring equipment. It is suitable as a heater for heating the semi-conductor wafer especially used for etching systems, such as membrane formation equipments, such as plasma CVD in the production process of a semiconductor device, reduced pressure CVD, and Light CVD and PVD, and plasma etching, optical etching.

[0002]

[Description of the Prior Art] as the former and a ceramic heater — ceramics, such as alumina ceramics and nature ceramics of silicon nitride, — that which laid under the inside of the body the resistance heating element which consists of conductive ceramics, such as refractory metals, such as a tungsten (W) and molybdenum (Mo), and TiN, is known, and, generally these ceramic heaters are widely used from excelling in thermal resistance, electric insulation, corrosion resistance, and abrasion resistance.

[0003] Moreover, the ceramic heater using the nature ceramics of aluminium nitride as for [ special ] applications is also proposed in recent years.

[0004] For example, the semi-conductor wafer which is a heated object in etching systems, such as membrane formation equipments used by the production process of a semiconductor device, such as plasma CVD, reduced pressure CVD, and Light CVD and PVD, and plasma etching, optical etching, (a wafer is called hereafter.)

[0005] While having the plasma-proof nature excellent in the bottom of the fluorine system for which the above-mentioned ceramic heater is used as a heater for heating for heating to various processing temperature, and the inside of it is also used by membrane formation equipment or the etching system, or the halogen system corrosive gas of \*\*\*\*\*, supporting, the thing using the nature ceramics of aluminium nitride equipped with the high temperature conduction property attracts attention.

[0006] As an approach of manufacturing such a ceramic heater First, while preparing the ceramic green sheet of two or more sheets which constitutes a ceramic object As a resistance heating element laid under the inside of the body, carry out addition kneading of a solvent and the binder at the powder of a refractory metal or the conductive ceramics, respectively, and the conductive paste to resistance heating elements is manufactured, a ceramic — This conductive paste is laid to one sheet of said ceramic green sheet by technique, such as screen printing, so that it may become a predetermined exoergic pattern. After carrying out the laminating of the remaining ceramic green sheets and forming a green sheet layered product so that this conductive paste may be covered, Degrease and the ceramic object which comes to lay underground the exoergic pattern which consists of a band-like resistance heating element by next calcinating at predetermined temperature is manufactured. There were some which manufactured the ceramic heater by exposing some above-mentioned exoergic patterns the appropriate back, using low

http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran\_web.cgi\_ejie

2005/09/14

JP.11-251040A [DETAILED DESCRIPTION]

3/8 ページ

made so small that thickness dispersion of the band-like resistance heating element which constitutes exoergic Pan in the living body cannot be acquired with the conventional screen printing, if a ceramic heater is made to generate heat, the temperature distribution of an exoergic side can be extremely made into homogeneity.

[0016] In order to obtain a ceramic heater with little such exoergic nonuniformity moreover, in this invention The green sheet for resistance heating elements which is hard to deform from conductive paste by the tape-forming method plastically is manufactured. Put what was pierced to the predetermined exoergic pattern with metal mold between the ceramic green sheets which constitute a ceramic object, and a green sheet layered product is manufactured, the condition that there is almost no thickness dispersion in the band-like resistance heating element which constitutes an exoergic pattern from degreasing and calcinating this and having manufactured it also in a large-sized ceramic heater — a ceramic — it can lay under the inside of the body.

[0017]

[Embodiment of the Invention] Hereafter, the operation gestalt of this invention is explained.

[0018] Drawing 1 (a) is the perspective view showing the example which used the ceramic heater of this invention as a heater for heating used by the production process of a semiconductor device, and (b) is X-X' sectional view of (a).

[0019] This ceramic heater 1 is made into the exoergic side 3 for support of the semi-conductor wafer W and heating of one principal plane of the above-mentioned ceramic object 2, and has joined the electric supply terminal 5 for energizing to the resistance heating element 4 to the principal plane of another side of the ceramic object 2 while it lays the band-like resistance heating element 4 underground into the plate-like ceramic object 2 with which the flat-surface configuration carried out the round shape.

[0020] And the semi-conductor wafer W supported on the exoergic side 3 is directly heated by laying the semi-conductor wafer W in the exoergic side 3, impressing alternating voltage to the resistance heating element 4, and making a ceramic heater 1 generate heat.

[0021] In addition, although drawing 1 showed the example of the ceramic heater 1 to which the flat-surface configuration carried out the round shape, a flat-surface configuration may carry out what kind of configurations, such as what, carried out polygons, such as an ellipse form or a square, and a pentagon, in addition to this.

[0022] As the quality of the material which constitutes such a ceramic object 2, alumina ceramics, the nature ceramics of silicon nitride, the nature ceramics of aluminium nitride, the nature ceramics of boron carbide, etc. can be used. Since it has thermal conductivity very high also in the ceramics, the inside of these or the nature ceramics of aluminium nitride can be suitably used as a ceramic object 2, while it has the plasma-proof nature which was excellent under the halogen system corrosive gas used by membrane formation equipment or the etching system. Especially the nature ceramics of high grade aluminium nitride whose purity is 99.8% or more Since there is almost no grain boundary into a sintered compact and it excels in plasma-proof nature, when corrosive wear is intense, are the optimal. Moreover, Y2 O3 With the nature ceramics of aluminium nitride contained in 1 ~ 5% of the weight of the range, rare earth oxides, such as Er Since thermal conductivity has 150 or more W/mk in 100 or more W/mk and a high thing and has 200 or more W/mk in a still higher thing, while being able to raise further soak-ization of the semi-conductor wafer W laid in the exoergic side 4 Time amount and a cooldown delay until it heats to processing temperature can be shortened.

[0023] moreover — as the quality of the material of the resistance heating element 4 laid underground into these ceramic objects 2 — the [ such as a tungsten (W) and molybdenum (Mo), / periodic table ] — the [ such as 6a group and Ti, / periodic table ] — 4a group refractory metals, or these alloys — conductive ceramics, such as WC, MoC, and TiN, can be used further. Even if it makes high temperature generate heat, they are not disconnected while they can prevent the curvature of the ceramic object 2 and breakage at the time of manufacture and generation of heat, since these metals, an alloy, and the conductive ceramics have a coefficient of thermal expansion comparable as the ceramics which constitutes the above-mentioned ceramic object 2.

[0024] furthermore, as an electric supply terminal 5 for energizing to the resistance heating

http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran\_web.cgi\_ejie

2005/09/14

material there, and joining an electric supply terminal (refer to JP.8-34123.B).

[0007]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] However, the following technical problems occurred in such a conventional process.

[0008] It was difficult for a limitation to be to suppress thickness dispersion of the resistance heating element which constitutes an exoergic pattern from an approach of manufacturing conductive paste and laying an exoergic pattern with screen printing, and to make further the temperature distribution in the exoergic side of a ceramic heater into homogeneity by this thickness dispersion.

[0009] Namely, in order to lay an exoergic pattern with screen printing using conductive paste Although conductive paste is printed by the predetermined exoergic pattern by preparing path clearance on the ceramic green sheet of one sheet which constitutes a ceramic object, installing a screen, and extending the conductive paste for resistance heating elements by the squeegee on this screen Since a pressure is put on a squeegee and a screen top is made to scan in case conductive paste is extended, a screen bends, and since the center section more distant from the frame which supports a screen becomes large, this amount of deflections Near the center of an exoergic pattern, it was difficult for the thickness of the conductive paste printed to become thin, for there to be dispersion as the thickness of conductive paste becomes thick in a periphery, and to suppress this thickness dispersion to 3 micrometers or less. And when the pressure put on a squeegee was uneven or the viscosity of conductive paste differed partially, there was also a possibility that the thickness of a resistance heating element might vary locally.

[0010] Moreover, since viscosity was small, it was easy to deform conductive paste also by the thrust at the time of formation of a green sheet layered product plastically, and it also had the technical problem that it was easy to produce thickness dispersion of a resistance heating element.

[0011] And it is remarkable as a ceramic heater enlarges such a trouble, and in the heater for heating especially used by the production process of a semiconductor device, soak-ization of an exoergic side was becoming difficult with enlargement of a semi-conductor wafer by the ceramic heater in which the large-sized ceramic heater 8 inches or more is demanded, and the diameter formed the exoergic pattern with screen printing.

[0012]

[Means for Solving the Problem] then, the exoergic pattern whose difference of the maximum of the thickness of each resistance heating element and the minimum value in the cutting plane which cut this invention in view of the above-mentioned technical problem by at least two segments of the exoergic pattern space constituted with a band-like resistance heating element which pass along the central point mostly is less than 10% of the average of the resistance heating element thickness in all cutting planes — a plate-like ceramic — it lays under the inside of the body, and a ceramic heater is constituted.

[0013] If the above-mentioned ceramic object is especially formed with the nature ceramics of aluminium nitride, the temperature distribution in the exoergic side of a ceramic heater can be made more into homogeneity, and it is suitable.

[0014] Moreover, the process which manufactures the ceramic green sheet of two or more sheets with which this invention constitutes a ceramic object. The process which carries out addition kneading of a solvent and the binder at the powder of refractory metals, those alloys, or the conductive ceramics, and manufactures the green sheet for resistance heating elements by the tape-forming method. The process pierced to a predetermined exoergic pattern with metal mold after carrying out the laminating of the green sheet for these resistance heating elements to at least one sheet of the above-mentioned ceramic green sheet. The process which carries out the laminating of the remaining ceramic green sheets, and forms a green sheet layered product so that the green sheet for resistance heating elements pierced to this predetermined exoergic pattern may be covered, This green sheet layered product is degreased and a ceramic heater is manufactured from the process calcinated the appropriate back.

[0015] namely, — according to the ceramic heater of this invention — a ceramic — since it is

http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran\_web.cgi\_ejie

2005/09/14

JP.11-251040A [DETAILED DESCRIPTION]

4/8 ページ

element 4 in the above-mentioned ceramic object 2 Metals, such as a tungsten (W), molybdenum (Mo), and nickel (nickel), and an iron (Fe)-cobalt (Co)-nickel (nickel) alloy can be used. When especially oxidation resistance is required, it is good to use nickel (nickel) or an iron (Fe)-cobalt (Co)-nickel (nickel) alloy.

[0025] by the way, as an exoergic pattern of the resistance heating element 4 laid underground into the above-mentioned ceramic object 2 Resistance heating element 4a of the shape of radii arranged so that a concentric circle as shown in drawing 2 (a) may be constituted, in order to heat the circular exoergic side 3 to homogeneity. It consists of a straight-line-like resistance heating element 4 which connects \*\*\*\* radii-like resistance heating element 4a, and the edge of resistance heating element 4a of the two shape of radii prolonged in a core is set to electrode takeoff-connection 4c. Since right and left can be mostly made into the shape of isomorphism even if it cuts in such an exoergic pattern S, then which part passing through a core, the homogeneity of the temperature distribution of the exoergic side 3 can be carried out.

[0026] In addition, what is necessary is not to be limited only to what was shown in drawing 2 (a) as a configuration of the exoergic pattern S, and just to design suitably according to the structure of the ceramic object 2, or the configuration of the exoergic side 3. However, when the exoergic side 3 carries out a round shape like the ceramic heater 1 of drawing 1, what has a pattern configuration as shown in drawing 2 (b) which has the exoergic pattern S shown in drawing 2 (a) and electrode takeoff-connection 4c in the outermost periphery is desirable.

[0027] And according to the ceramic heater 1 of this invention, it is characterized by the difference of the maximum of the thickness of each resistance heating element 4 and the minimum value in the cutting plane cut by at least two segments of the above-mentioned exoergic pattern space which pass along the central point mostly being less than 10% of the average of the resistance heating element 4 thickness in all cutting planes.

[0028] The difference of the maximum of the thickness of each resistance heating element 4 and the minimum value in the cutting plane cut by at least two segments of an exoergic pattern space which pass along the central point mostly here that it is less than 10% of the average of the resistance heating element 4 thickness in all cutting planes For example, while four segments passing through the core of an exoergic pattern space cut the ceramic object 2 to eight division into equal parts at intervals of 45 degrees as shown in drawing 3, and measuring thickness t of each resistance heating element 4 which appears in these cutting planes and calculating the maximum and minimum value The average of thickness t of the resistance heating element 4 which appears in all cutting planes is computed. In addition, on the occasion of measurement of thickness t, the thickest part is computed as thickness [ of the resistance heating element 4 ] t in each resistance heating element 4. And it says that the difference of the maximum of thickness t of each resistance heating element 4 and the minimum value in a cutting plane has become less than 10% of the average of thickness t of the resistance heating element 4 in all cutting planes.

[0029] thus, from a very small thing, thickness dispersion of the band-like resistance heating element 4 which constitutes the exoergic pattern S from this invention Thickness dispersion of the band-like resistance heating element 4 which constitutes the exoergic pattern S even when the temperature distribution of the exoergic side 4 can be made into homogeneity and it produces exoergic nonuniformity from the problem on structure locally by \*\*\*\*\* etc. from a very small thing Resistance can be easily adjusted only by changing the width of face of the resistance heating element 4 in a part with exoergic nonuniformity, and the exoergic nonuniformity of the exoergic side 3 can be controlled easily.

[0030] By the way, first, in order to manufacture such a ceramic heater 1, as shown in drawing 4 (a), ceramic green sheet of two or more sheets 2a which constitutes said ceramic object 2, 2b, and ... are formed. What is necessary is to firstly fabricate by tape-forming methods, such as a doctor blade method, the Czochralski method, a calender, a paper casting, the paper casting method, and the roll compaction method, after carrying out addition kneading of a solvent and the binder and producing slurry, while ceramic green sheet 2a, 2b, and ... add a predetermined assistant component if deemed to said ceramic powder.

[0031] On the other hand, as shown in drawing 4 (b), the resistance heating element 4 carries

http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran\_web.cgi\_ejie

2005/09/14

out addition kneading of a solvent and the binder to the powder of said metal, an alloy, and the conductive ceramics, produces slurry, and forms green sheet 4' for resistance heating element 4 with uniform thickness width of face for this slurry using tape-forming methods, such as a doctor blade method, the Czochralski method, a calender, a paper casting, the paper casting method, and the roll compaction method. In addition, what is necessary is to accustom thickness and just to attain equalization by passing between the rolls which have a uniform predetermined gap, when green sheet 4' is fabricated by the describing (above) tape-forming method and equalization of thickness cannot be attained, or when the thickness width of face  $t$  is too thick.

[0032] And the laminating of green sheet 4' for resistance heating element 4 obtained as shown in drawing 4 (c) is carried out on [of one sheet] ceramic green sheet 2h among ceramic green sheet 2a and 2b of two or more above-mentioned sheets, and ... In addition, what is necessary is just to carry out the laminating of green sheet 4' for resistance heating element 4 to other ceramic green sheets, in laying the exoergic pattern S underground more than two-layer.

[0033] Next, as shown in drawing 4 (d), after piercing green sheet 4' for resistance heating element 4 which carried out the laminating on ceramic green sheet 2h with the exoergic pattern S of drawing 2 (a), and the metal mold which has isomorphism-like heights, the laminating of the remaining ceramic green sheet 2a, 2b, and ... is carried out, and the green sheet layered product 8 is manufactured so that the above-mentioned exoergic pattern S may be covered, as shown in drawing 4 (e).

[0034] After performing cutting to the green sheet layered product 8 and making a flat-surface configuration circular the appropriate back, this green sheet layered product 8 is degreased, and the ceramic object 2 which lays the exoergic pattern S underground and becomes as shown in drawing 4 (f) is formed by calcinating at the temperature which can subsequently make various ceramic raw materials sinter.

[0035] And while performing polish processing to one principal plane of the above-mentioned ceramic object 2, setting the field granularity to 1 micrometer or less by the center line average of roughness height (Ra) and forming the exoergic side 3 Electrode takeoff-connection 4c of the resistance heating element 4 and a hole open for free passage can be drilled in the principal plane of another side of the ceramic object 2, it can join that low material is also about the electric supply terminal 5 to this hole, and the ceramic heater 1 of drawing 1 can be obtained by connecting electrically the resistance heating element 4 and the electric supply terminal 5, respectively.

[0036] In this way, since thickness dispersion of the resistance heating element 4 which constitutes the exoergic pattern S is very small according to the ceramic heater 1 of this invention, if a ceramic heater 1 is made to generate heat If homogeneity can be made to generate heat and this ceramic heater 1 is used as a heater for heating used for membrane formation equipment and the etching system in a production process of a semiconductor device, without producing the exoergic nonuniformity of the exoergic side 3 Since the semi-conductor were supported to the exoergic side 3 can be made to generate heat to homogeneity, while being able to form a thin film with uniform thickness width of face or being able to perform micro processing to a predetermined precision Even if put to the plasma under halogen system corrosive gas, since it has covered with the ceramics excellent in plasma-proof nature, the resistance heating element 4 can be used over a long period of time.

[0037] In addition, although this operation gestalt explained with the example of the heater for heating used for membrane formation equipment and the etching system in a production process of a semiconductor device, it cannot be overemphasized that the ceramic heater of this invention can be suitably used for others also as a heater used in various fields, such as heaters for heating, such as a heater for ignition of a burning appliance, and a heating device, measuring equipment.

[0038] (Example 1) The ceramic heater 1 of this invention as shown in drawing 1, and the conventional ceramic heater were prepared, and the experiment which compares thickness dispersion of the resistance heating element 4 with the temperature distribution of the exoergic side 3 was conducted.

[0039] In this experiment, while forming the ceramic object 2 with the nature ceramics of

[http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran\\_web.cgi\\_ejje](http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran_web.cgi_ejje)

2005/09/14

aluminium nitride of 99.9% of purity, the tungsten was used for the resistance heating element 4. Moreover, the target dimension of the resistance heating element 4 which constitutes the exoergic pattern S was made into thickness  $t$  15micrometer and width of face of 5mm.

[0040] Specifically addition kneading of a solvent and the binder was carried out to the AlN powder of 99.9% of purity, slurry was produced, and two or more ceramic green sheets of two or more sheets were formed with the doctor blade method.

[0041] And in elegance, carry out addition kneading of the solvent of a terpeneol, and the acrylic binder to the powder of a tungsten conventionally, and the conductive paste for resistance heating element 4 is manufactured. Carry out a laminating to one sheet of said ceramic green sheet with screen printing like the exoergic pattern S which shows this conductive paste to drawing 2, and a green sheet layered product is formed. To the powder of a tungsten, carry out toluene at a solvent, it carries out addition kneading of the polyacrylic acid ethyl at a binder, respectively, and \*\*\*\*\* produces slurry. After carrying out the laminating of what formed the green sheet for resistance heating element 4 with the doctor blade method to one sheet of a ceramic green sheet, What was pierced with metal mold so that it might become the exoergic pattern S shown in drawing 2 was covered with the remaining ceramic green sheets, and the green sheet layered product was formed.

[0042] And these green sheet layered products are degreased in nitrogen-gas-atmosphere mind. Subsequently, while forming the ceramic object 2 which laid the exoergic pattern S underground by calcinating at the temperature of about 2010 degrees C, performing polish processing to one principal plane of this ceramic object 2 and forming the exoergic side 3 Two holes which are open for free passage to the resistance heating element 3 with a drill were drilled in the principal plane of another side, and each ceramic heater 1 was manufactured by carrying out low attachment immobilization of the electric supply terminal 5 which becomes these holes from an iron-cobalt-nickel alloy.

[0043] And impressed the frequency of 60Hz, and the alternating voltage of 100V to each obtained ceramic heater 1, the laying temperature of 500 degrees C was made to generate heat, and the skin temperature of the exoergic side 3 was measured with the thermostat viewer. The thermometry point was made into the point of  $a-s$  shown in drawing 5. In addition, the thermometry point was performed by checking an exoergic pattern space with an X-ray.

[0044] Next, after measuring temperature, four segments (it passes along a measure point) passing through the core of an exoergic pattern space cut each ceramic heater, and thickness dispersion of the resistance heating element 4 was measured by measuring thickness  $t$  of each resistance heating element 4 which appears in the cutting plane.

[0045] Each result is as being shown in Table 1.

[0046] [Table 1]

[http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran\\_web.cgi\\_ejje](http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran_web.cgi_ejje)

2005/09/14

測定ポイント	本発明		従来例	
	抵抗加熱体厚さのばらつき (μm)	温度 (°C)	抵抗加熱体厚さのばらつき (μm)	温度 (°C)
a	14.3	500	16.2	500
b	14.5	499	15.3	498
c	14.8	498	15.3	501
d	14.9	499	17.3	488
e	14.5	500	18.9	481
f	14.2	501	18.2	485
g	14.5	499	18.9	483
h	14.2	502	14.5	512
i	14.5	500	16.1	507
j	14.3	501	15.0	505
k	15.0	500	14.9	500
l	15.1	504	15.3	499
m	14.8	503	14.7	501
n	14.7	502	13.0	518
o	14.4	505	13.5	515
p	15.0	503	13.2	510
q	14.8	504	13.9	511
r	14.5	505	13.3	508
s	14.9	504	13.7	512
①平均値	14.6	502	15.4	502
②最大値-最小値	0.9	7	5.2	37
③④ (%)	6	1	34	7

[0047] Consequently, in elegance, it turns out conventionally that dispersion has considerably the difference of the maximum of thickness  $t$  of each resistance heating element 4 which appears in a cutting plane, and the minimum value in thickness  $t$  of 34% and the resistance heating element 4 to the average of thickness  $t$  of the total resistance heating element 4. For the reason, 37 degrees C and exoergic nonuniformity had the large difference of the maximum and the minimum value in the exoergic side 3.

[0048] On the other hand, it turns out that, as for this invention article, the difference of the maximum of thickness  $t$  of each resistance heating element 4 which appears in a cutting plane, and the minimum value can reduce sharply thickness dispersion of 1% and the resistance heating element 4 to the average of thickness  $t$  of the total resistance heating element 3. For the reason, the difference of the maximum and the minimum value in the exoergic side 3 was able to hold down exoergic nonuniformity to 7 degrees C and 20% or less of a comparison article, and was able to raise the temperature distribution of the exoergic side 3 sharply.

[0049] (Example 2) In the ceramic heater 1 of this invention, thickness dispersion of the resistance heating element 4 was made to change intentionally, and the experiment investigated on the same conditions as an example 1 about the relation between thickness dispersion of the resistance heating element 4 and the temperature distribution of the exoergic side 3 was conducted there.

[0050] And since to make the difference of the maximum temperature and the minimum temperature into 20 degrees C or less as temperature dispersion of the exoergic side 3 in recent years was desired, the case of 20 degrees C or less was evaluated as generation of heat being good.

[0051] Each result is as being shown in Table 2.

[0052]

[Table 2]

[http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran\\_web.cgi\\_ejje](http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran_web.cgi_ejje)

2005/09/14

抵抗加熱体厚さのばらつき ②/① (%)	温度のばらつき ③/④ (°C)
1	6
2	9
3	1.2
4	1.7
5	2.2

①: 全抵抗加熱体の厚さ の平均値  
②: 各抵抗加熱体の厚さ の最大値と最小値の差  
※は本発明の範囲外である。

[0053] Consequently, it turns out that temperature dispersion of 10% or less, then the exoergic side 3 is made by the difference of the maximum of thickness  $t$  of each resistance heating element 4 which appears in a cutting plane, and the minimum value with 20 degrees C or less to the average of thickness  $t$  of the total resistance heating element 3.

[0054]

[Effect of the invention] As mentioned above, according to this invention, carry out addition kneading of a solvent and the binder at the powder of refractory metals, those alloys, or the conductive ceramics, and the green sheet for resistance heating elements is manufactured by the tape-forming method. By degreasing, after putting what was pierced by the predetermined exoergic pattern with metal mold between the ceramic green sheets which constitute a ceramic object and forming a green sheet layered product, and subsequently calcinating The difference of the maximum of thickness  $t$  of each resistance heating element 4 and the minimum value in the cutting plane cut by at least two segments of the exoergic pattern space constituted with a band-like resistance heating element which pass along the central point mostly From having laid underground the exoergic pattern which is less than 10% of the average of the resistance heating element 4 thickness in all cutting planes into the plate-like ceramic object 2, and having constituted the ceramic heater Since thickness dispersion of the resistance heating element which constitutes an exoergic pattern can be made very small, the temperature distribution of an exoergic side can be made into homogeneity. Since the resistance heating element is covered with the ceramics excellent in corrosion resistance while being able to perform uniform membrane formation and uniform micro processing to a heated object, if the ceramic heater of this invention is used as a heater for heating used by membrane formation equipment, an etching system, etc. for the reason, even if put to the plasma under halogen system corrosive gas, such as a fluorine system and a chlorine system, it does not wear out greatly and can use over a long period of time.

[Translation done.]

[http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran\\_web.cgi\\_ejje](http://www4.ipdl.ncipi.go.jp/cgi-bin/tran_web.cgi_ejje)

2005/09/14

\* NOTICES \*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.

2.\*\*\*\* shows the word which can not be translated.

3.In the drawings, any words are not translated.

---

## DESCRIPTION OF DRAWINGS

---

[Brief Description of the Drawings]

[Drawing 1] (a) is the perspective view showing the example which used the ceramic heater of this invention as a heater for heating used by the production process of a semiconductor device, and (b) is X-X-ray sectional view of (a).

[Drawing 2] (a) is the mimetic diagram showing the exoergic pattern of the resistance heating element currently laid underground in the ceramic heater of drawing 1 , and (b) is the mimetic diagram showing other exoergic patterns.

[Drawing 3] It is the perspective view showing the condition of having cut the ceramic heater of drawing 1 .

[Drawing 4] (a) - (f) is drawing showing the production process of the ceramic heater of drawing 1 .

[Drawing 5] It is drawing showing the thermometry point in an exoergic side.

[Description of Notations]

1 ... Ceramic heater 2 ... Ceramic object 3 ... Exoergic side

4 ... Resistance heating element 4a ... Radium-like resistance heating element

4b ... Radium-like resistance heating element 5 ... Electric supply terminal S ... Exoergic pattern

W ... Semi-conductor wafer

---

[Translation done.]